

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 10:00～午後 3:00

No.332 2025 年 7 月 1 日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086

発行責任者 的場 伸晃
編集 集 坂田 祐美
定価 50 円(会費を含む)

第54次国会請願 衆参両院で「採択」



今年3月に各県選出
国会議員(225 名)を
通じて 28 万 7,948 筆
(うち富山は 4,477 筆)

を提出した、全腎協の「国民を腎疾患から守る
総合対策の早期確立を要望する請願」は、第
217 回通常国会において 6 月 20 日付で衆参
両院ともに採択されました。

また、JPA(日本難病・疾病団体協議会)の
「難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾患対
策の総合的な推進を求める請願」についても、
同じく衆参両院ともに採択されました。

私たち透析患者や移植者が安心して生活で
きるよう、署名活動に取り組んでくださった皆様
へ改めてお礼申し上げます。

災害対策関連法案改正へ

一救助に福祉サービス提供が明記一

能登半島地震の教訓等も踏まえ防災体制を
強化するため、災害対策基本法や災害救助法
等 6 つの法律を改正する法案が 5 月 28 日、参
議院本会議で採決され、賛成多数で可決・成
立しました。

今回の改正により、国が費用負担をする「救
助」の種類に「福祉サービスの提供」が明記さ
れ、避難所だけでなく自宅にとどまったり、車中
泊をしたりする高齢者や障害者等が必要な支
援を速やかに受けられるようになるほか、自治
体に対し、保存食や簡易トイレといった災害用
物資の備蓄状況を年 1 回公表することを義務
付けることが盛り込まれました。施行は一部を
除き、公布日から 3 か月以内です。

【参考】

https://www.bousai.go.jp/taisaku/minaoshi/pdf/kih-onhou_06_1.pdf

「県単独医療費助成」今年度も継続

昨年 8 月に提出した令和 7 年度予算要望(7 項目)に対
する県からの回答書が、5 月 26 日(月)に開かれた自民党
政務調査会を通じて渡されました。

1. 県単独医療費助成制度の継続

今年度も継続を決定。

近県でも一部自己負担金が発生している中、私た
ち透析患者の多くが自己負担なく透析医療を受け
ることができるのは、この制度のおかげです。

2. 透析治療のための通院に対する助成

市町村が主体ではあるが、県としても移動支援事業
が円滑に実施され、障害者に必要なサービスが適切
に提供されるよう予算の確保に努めたい。

3. 高齢透析患者増加への対応

①透析患者の円滑な施設へ入所と施設側の体制整備、医療機関との連携促進

県として、県老人福祉施設協議会等の関係団体へ
要望の趣旨を伝えたい。

②在宅を含む介護従事者の透析医療への理解促進

介護従事者向けの研修の設定を検討したい。

4. 慢性腎臓病(CKD)対策事業

例年通り講演会開催費として予算化。

5. 臓器移植推進のための啓発事業

県臓器移植コーディネーター設備費補助金として、
県移植推進財団で臓器移植普及啓発事業のための
予算を確保している。

6. 感染症対策

平時から富山県透析医会や医療機関等と連携し、
感染拡大時に透析患者の医療提供体制が確保され
るよう努めたい。

7. 災害時の通院手段や避難施設の確保

県では市町村が指定する避場所とは別に、災害発
生時におけるホテル等の避難所の利用について、県
及び市町村において協定を締結している。今後も市
町村と連携して避難所の確保に努めたい。

NPO 法人富山県腎友会第55回定期大会

6月1日(日)午前、富山市総合社会福祉センター 大ホールにおいて開催し、会員、家族、透析施設スタッフなど117名が参加しました。

前半の大会では、中村会長が「透析医療、医療費助成制度、そして医療従事者、家族、送迎の方など、私たちに関わってくださる全ての方へ感謝を忘れてはならない」と挨拶しました。また、来賓としてお迎えした県透析医会の石田陽一会長と県移植推進財団の飯田博行理事長からもお祝いの言葉をいただきました。

長期透析者表彰では、透析50年1名、45年1名、40年4名をはじめ合計93名が表彰され、当日出席された透析30年以上の会員さん5名へ中村会長から表彰状ならびに記念品を手渡しました。

後半の記念講演では、富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科部長の篠崎康之先生を講師に迎え、「透析を止める日～いのち輝く透析人生のデザイン」と題してご講演いただきました。



長期透析者表彰(50年)



篠崎康之先生

病院名	会員	家族	スタッフ他	計
県立中央	1		3	4
富山赤十字	1	1	1	3
横田記念	3		1	4
長谷川	3		1	4
不二越	8		3	11
元町内科	3	2	2	7
富山城南			4	4
富山協立	1			1
政岡内科	1		1	2
みかわ			1	1
うさか	1	1		2
厚生連高岡	3	1		4
高岡市民	2	1	3	6
あさなぎ	1	1	1	3
高陵	5	3		8
泉が丘内科	2			2
真生会富山	1		1	2
黒部市民	2	1		3
富山労災	1	2	1	4
坂東		1		1
あさひ総合	1			1
砺波総合	1		2	3
北陸中央	1	1	1	3
南砺中央		1	3	4
個人会員	7	4		11
その他		2	17	19
合計	49	22	46	117

お礼

定期大会以降も多くの会員さんから青い鳥郵便ハガキのご寄付をいただき、誠にありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

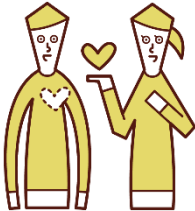
脳死提供は過去最多、心停止後の提供は過去最少

～2024年度の臓器移植実施状況報告から～

厚生労働省は6月3日、2024年度末(2025年3月末)の臓器移植実施状況を国会に報告しました。

それによると、臓器提供者数は148人(前年比17人増)。このうち脳死下の臓器提供者は139人で過去最多となりました。一方、心停止後の臓器提供者数は9人(同6人減)にとどまり、過去最少だった2020年度と同数でした。

臓器別では、腎臓の提供者数は124人(前年比5人増)、そのうち脳死下の提供は115人(同11人増)でした。



今後の予定

- 北越ブロック会議 8/10 WEB
- 全腎協青年研修会 8/24 WEB



おくやみ

- 村上 幸夫 殿 坂東病院 享年83歳
- 古川 健二 殿 富山協立病院 享年84歳

謹んでご冥福をお祈り致します